

Autumn 2025

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐらの の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

秋号

2025
Autumn





縄文がアツい！

文時代を知ろう！！



ぼってりとした重厚感、口縁の複雑な装飾、縄や貝殻で繊細に施された文様…縄文土器が好きという方は多いのではないのでしょうか。そんな土器が生まれた縄文時代を多くの人にもっと知ってほしい！そんな思いから、今回は「縄文時代」にスポットを当てて特集します。

1 今、知っておくべき日本の縄文遺跡



遮光器とはサングラスに似たもの



大森貝塚



三内丸山遺跡

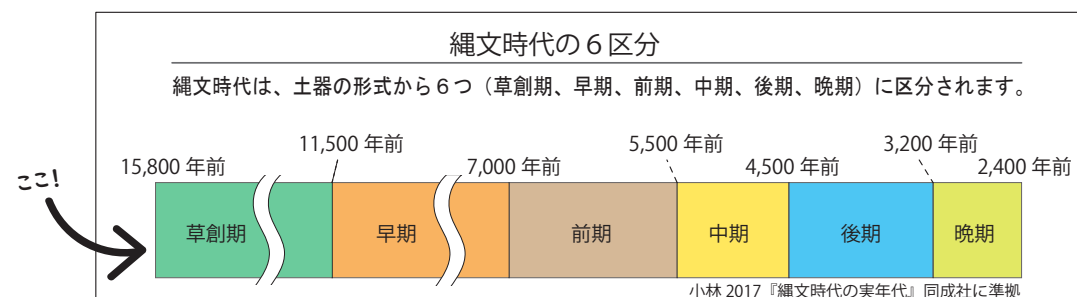
2021年7月には「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産登録され、その構成資産である青森県の三内丸山遺跡の累計入場者数は、950万人を突破しました（2024年11月）。この世界遺産登録を機に、国内の縄文遺跡・文化がジワジワと注目を集めています。多くの人が一度は耳にしたことがある大森貝塚（東京都大田区）も、縄文時代後期から末期のものです。ほかに、土偶のイメージとして定着している「遮光器土偶」が見つかった、縄文時代晩期の亀ヶ岡石器時代遺跡（青森県）も必見です！

2 富士宮には縄文草創期の遺跡がある！

縄文時代の中でもっとも古い草創期は、今から15,800年～11,500年前の時期を指します。富士宮市の大鹿窪遺跡は約13,000年前のもので、その集落の構造や、土器・石器がまとまって出土した草創期の遺跡としては大変珍しいため、国指定史跡になっています。



大鹿窪遺跡遠景



3 縄文を感じられる史跡大鹿窪遺跡園地

史跡大鹿窪遺跡は保護のために埋め戻してありますが、遺跡の重要性を後世に伝え、将来にわたって遺跡を保護し活用していくために、令和4～6年度にかけて、遺跡の整備を行いました。

「日常的な公園利用の中で縄文文化を体験・学習できる場」として、当時の地形の復元や、竪穴住居、集石・配石遺構の平面表示を行い、縄文時代草創期の集落の様子や当時の環境を体感できるようにしました。



集石・配石遺構を再現



遺跡からは富士山も見える

4 遺跡園地で学ぼう！体験学習会を開催中

歴史を身近に感じられる史跡大鹿窪遺跡。令和7年4月からは『富士山 縄文の学校』と銘打って、現地で縄文文化や生活を体験できるイベントを定期開催しています。「土器づくり」や「石器づくり」など、気になる講座への参加をお待ちしています。詳しくは二次元コードから、市のホームページ（大鹿窪のサイト）にアクセスしてください。



イベント詳細・予約はこちらから



鹿の骨を使ったペーパーナイフづくり

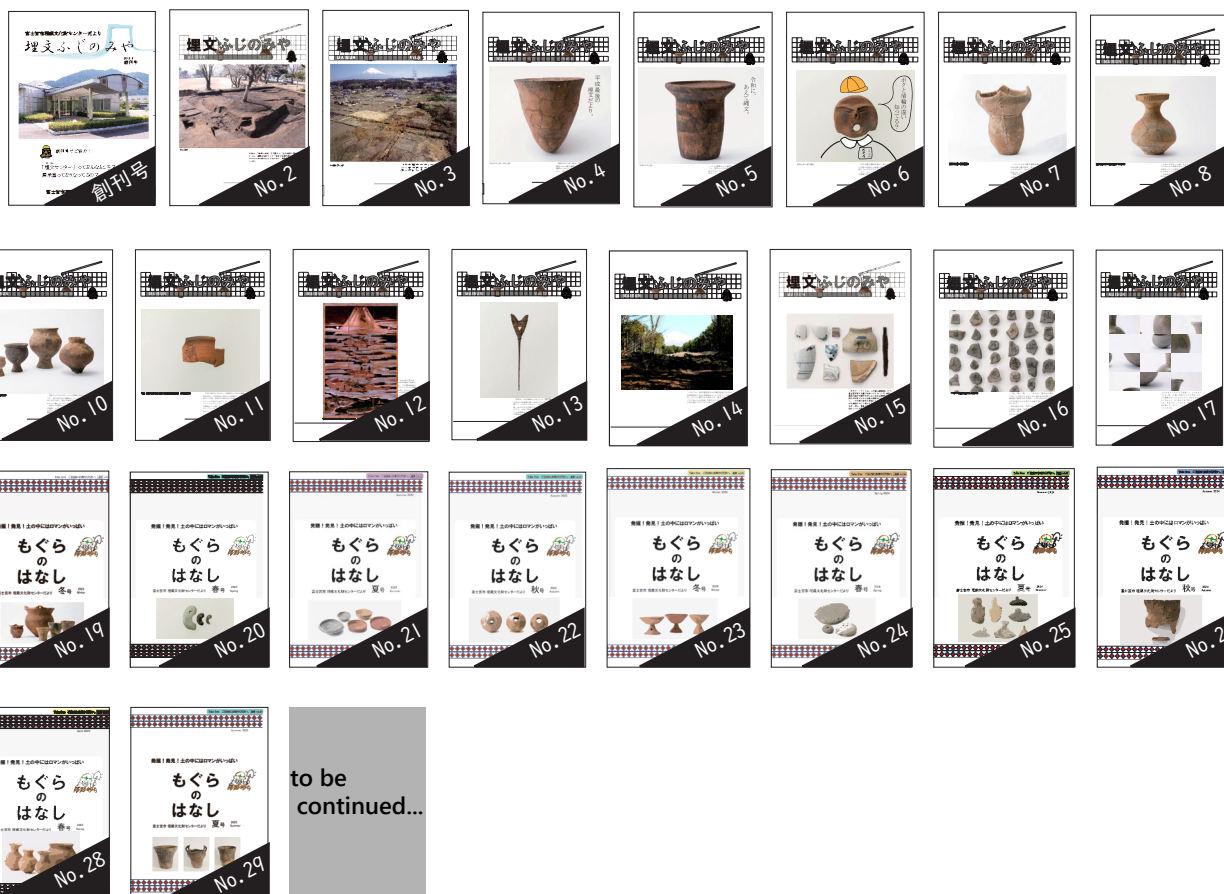


縄文土器は参加者の力作ぞろい



バック ナンバー

既刊号は
富士宮市のHPで
公開中



富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315 静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室 平日

開館日 * 祝日及び年末年始（12月28日～1月3日）は休館

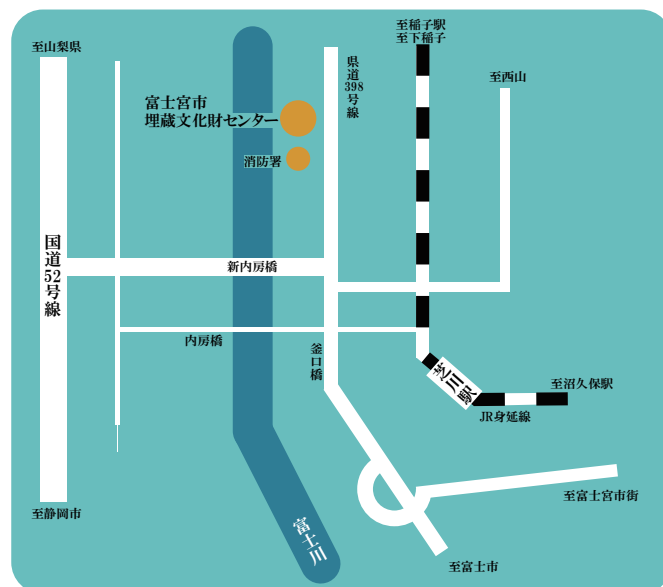
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

* 埋蔵文化財センターの業務時間は 8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり（無料）

※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより

もぐらのはなし 秋号（通算 vol.30）

令和7年10月

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター